

龍ヶ崎市公共施設再編成の基本方針

パブリックコメント付属資料

次世代へ適切なカタチで公共施設を引き継ぐために

公共施設、ハコモノは時限爆弾？ 公共施設の更新問題が到来！ 龍ヶ崎市は・・・



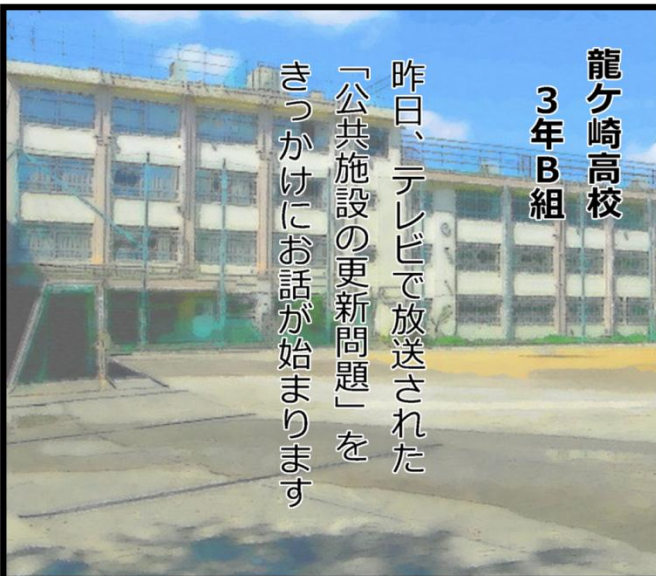
好物はトマト
お調子者の
タツオくん

うな井で
いつも元気な
ヒナちゃん

コロッケ大好き！
学級委員の
ナナちゃん

朝食はごはん派
担任の
崎子先生

作 龍ヶ崎市
平成24年12月



龍ヶ崎高校
3年B組

昨日、テレビで放送された
「公共施設の更新問題」を
きっかけにお話が始まります



このマンガの舞台は
茨城県龍ヶ崎市

※龍ヶ崎高校は実在しません。





テスト終了

朝からいきなり
抜き打ちテストに
なるとは...とほほ

今回はちょっと
自信ないな

はいはい、みんな
席にもどってね

新しい公共施設も
いずれば建替えの
時期を迎えます
それが一斉に来たら
どうなるでしょうか？



誕生日とお正月、
それからクリスマスが
一斉に来たらプレゼント
いっぱいだね

ぽわ〜ん

みんな一斉に来たら
お金が足りないよ

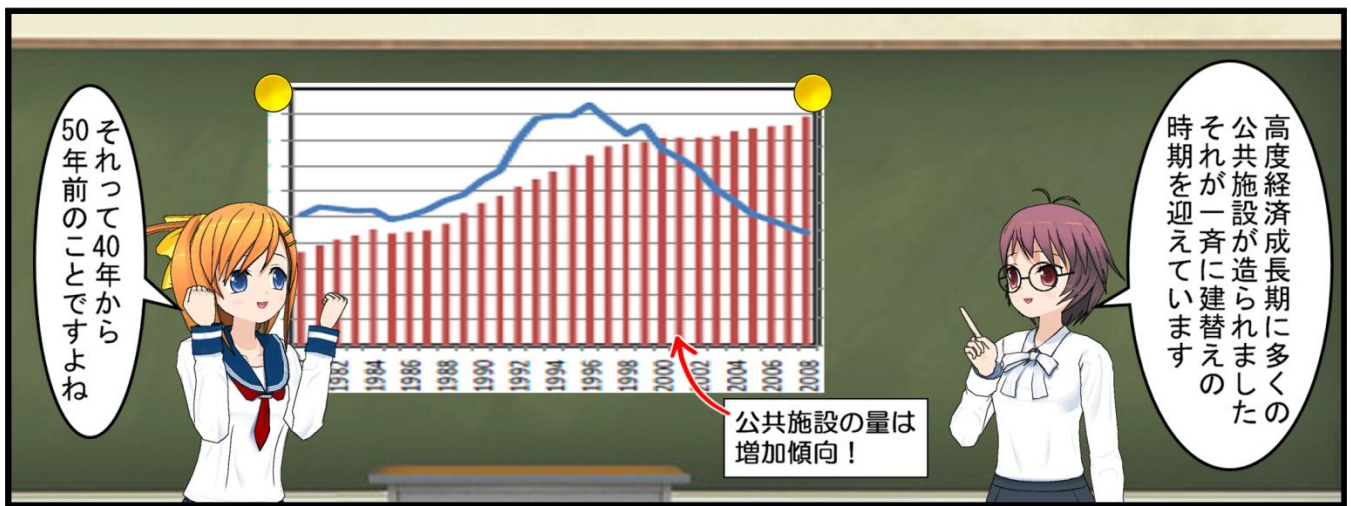
あら？タツオくん
目の付けどころが
いいわね



実は日本全国の公共施設が
建替えの時期を迎えています

どーん!

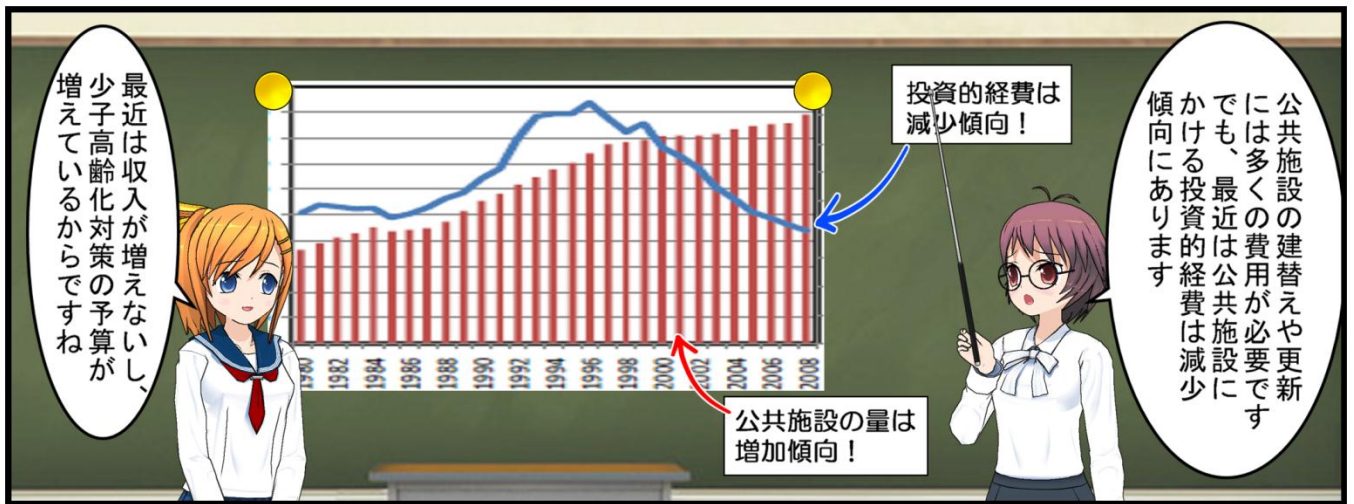
しかも同時期に！



高度経済成長長期に多くの
公共施設が造られました
それが一斉に建替えの
時期を迎えています

公共施設の量は
増加傾向！

それって40年から
50年前のことですよ



考えられるシナリオは3つあります

つまり、建替えどころか維持すらできないってことになるのかな?

どうなるの? この先

あっ?! だから、ハコモノは時限爆弾って言われるんだ!

バクダンが爆発!

ポーン!
シナリオ2
すべての公共施設を更新しようと無理な借金をして財政が破たんします!

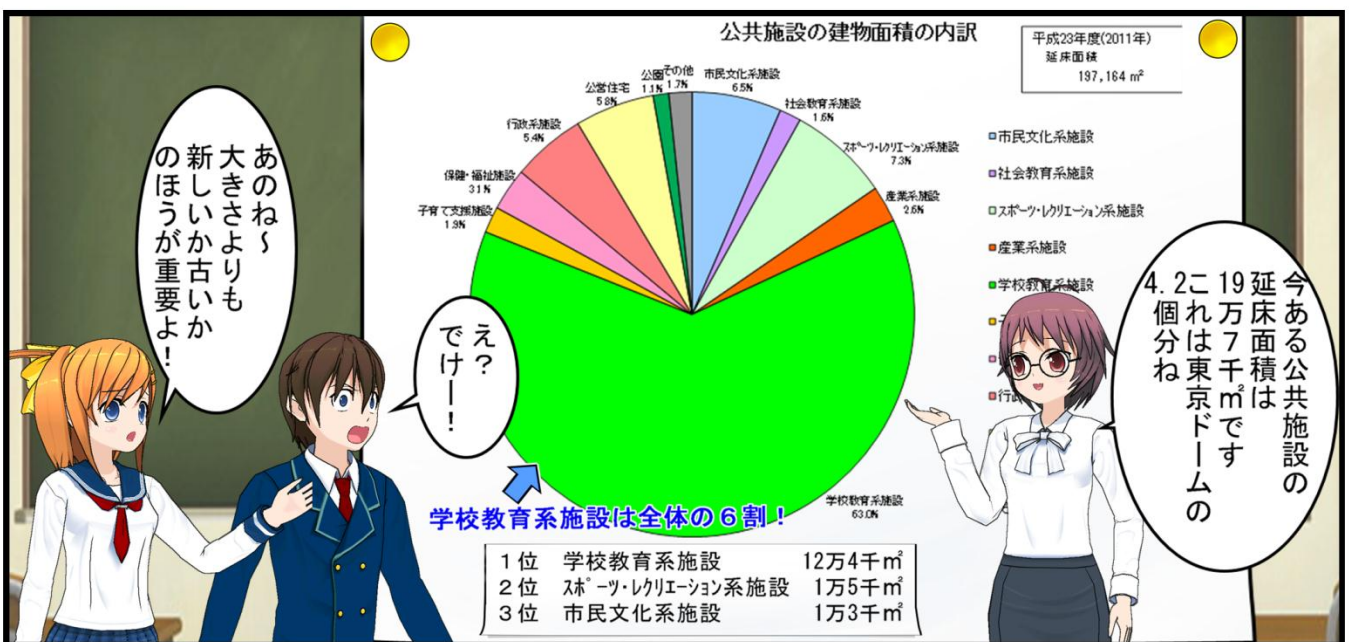
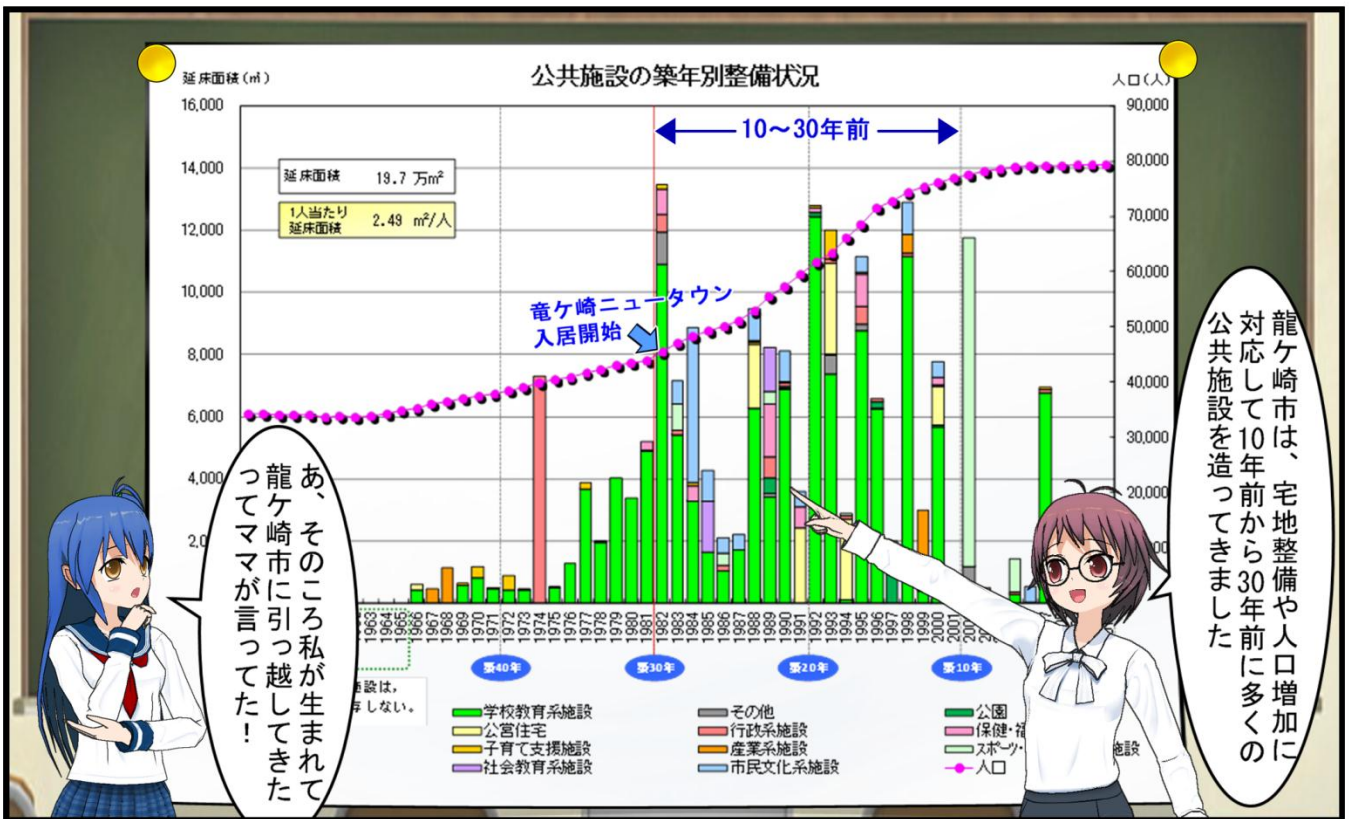
ポーン!
シナリオ1
結論を先送りして老朽化が進行し公共施設の機能停止や崩壊が起こります!

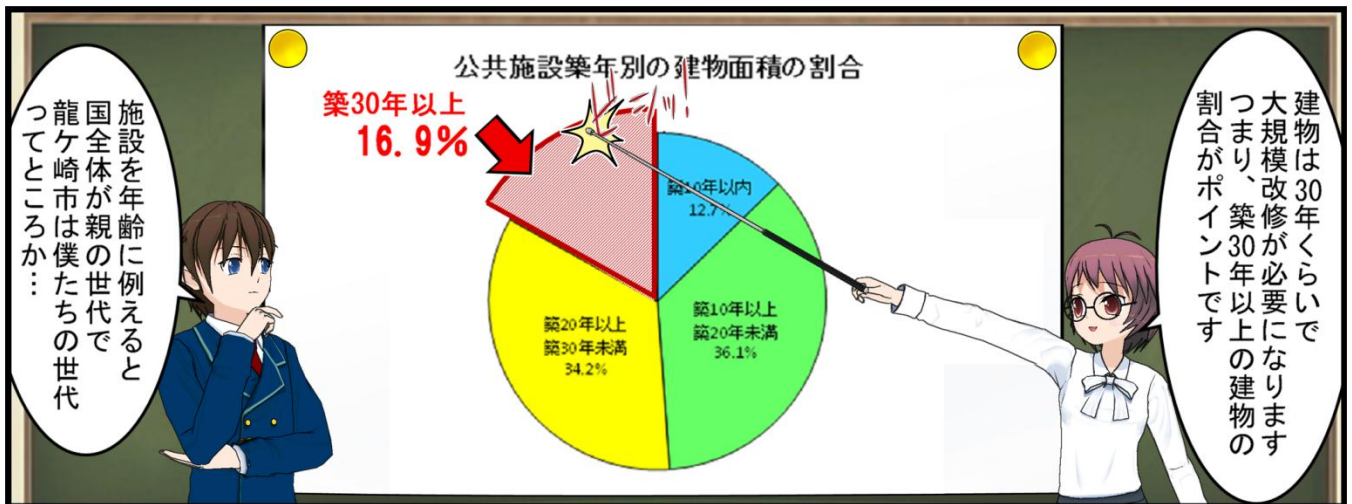
龍ヶ崎市は第3のシナリオを指しています

第3のシナリオってなんですか?

少子高齢化や財政問題世の中の変化を考えることも重要です!

崎子先生 日本全体も気になるけど龍ヶ崎市は?





ええ、崎子先生？

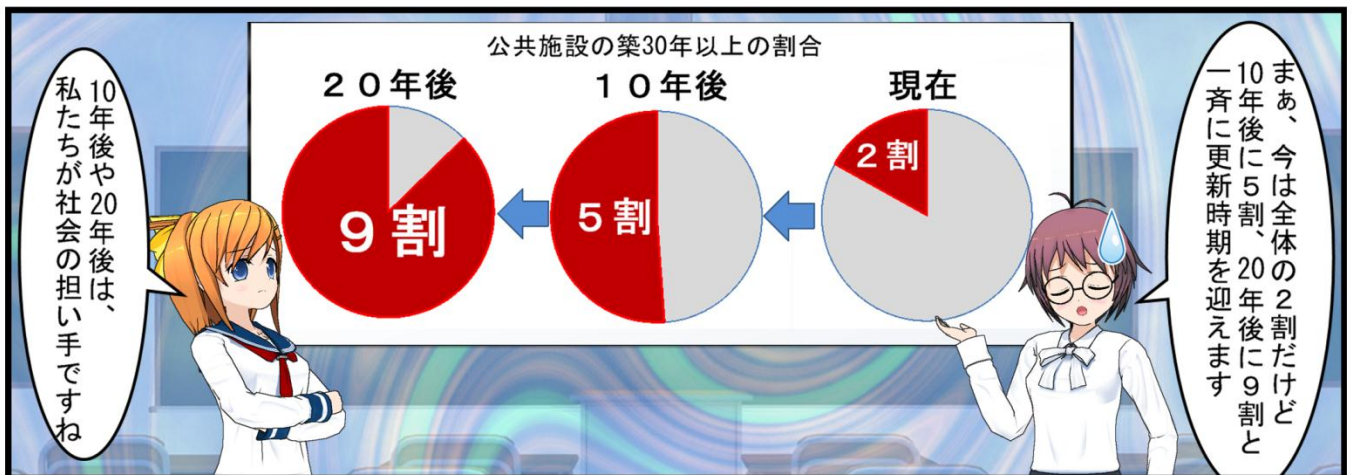
どういう意味？

そうは言っても年をとるのは早いよ

つまり、龍ヶ崎市は若い施設が多いから問題ないのかな

くるっ

ねえ、崎子先生？



ええ？ナナちゃん他にもまだあるの？

ちなみにお金の話だけじゃないよ？

？

施設が急速に古くなり、一斉に更新時期を迎えるから、みんなの問題として今から計画的に取り組むことが重要ということね



龍ヶ崎市は
そういう対策を
考えているわけだ

そうね、
施設の機能や使い方の
見直しも大切な視点ね

少子高齢化、
考え方の多様化：
世の中が動いているん
だから公共施設に求め
られる機能がだつて
変わるんじゃない？



それで公共施設再編成の
基本方針を策定してるんだね

つまり、現世代と次世代の
橋渡しの役割を担うのが
第3のシナリオなんだ！



そして10年後20年後に
一気にやってくる更新にも
備えることができます！

今、公共施設のあり方を
真剣に考えることで、必要な
機能を確保することになり、
費用の抑制もできます！



公共施設再編成の基本方針の
パブリックコメントを実施中です

龍ヶ崎市は公共施設の
「新しいカタチ」の創造を
目指しています



わが国では、高度経済成長期に多くの公共施設やインフラが整備されましたが、今、その更新時期を迎えています。当然、巨額の更新費用が一斉に必要なとなりますが、国及び自治体とも厳しい財政状況にあること、加えて、少子高齢化・人口減少社会の進行などの財政運営上のマイナス要因を踏まえると、今あるすべての公共施設を更新することは困難と考えられます。このため、更新費用の削減と財源確保が大きな課題としてクローズアップされるようになりました。さらに、社会経済情勢の変化やライフスタイルの多様化を背景に、これまで公共施設が担ってきた役割や提供してきたサービスの見直しなど、公共施設のあり方を見直すことも課題となっています。

この課題を一体的に解決しなければ、多くの公共施設は物質的あるいは機能的に朽ちてしまうという問題に直面しています。しかも、この問題は、比較的短期間のうちに都市化が進展した自治体では必ず起こる性質のものであることから、「ハコモノは時限爆弾」などとも称され、自治体共通の課題と認識されつつあります。

さて、本市では、ニュータウン開発や佐貫駅周辺開発などの住宅地の整備に合わせて、昭和 50 年代から平成 10 年代にかけて公共施設やインフラの多くを整備してきました。このため、我が国全体の状況と比べると、本市の公共施設の老朽化度は比較的低いものの、この公共施設の更新問題を避けて通ることはできません。そこで「現世代の需要を充足し、さらに、次世代へ適切なカタチで公共施設を引き継ぐこと」を基本コンセプトに、計画的かつ組織的に公共施設の更新問題に取り組むこととしました。これにより、公共施設の全体最適化と財政運営の両立という「第 3 のシナリオ」を実現し、公共施設が担う必要性の高い機能を確保してまいります。



●資料の公表・意見の募集期間

平成 24 年 12 月 18 日（火）～平成 25 年 1 月 17 日（木）

●意見の提出方法・提出先

持参、郵送、FAX、電子メールのいずれかで提出してください（書式は自由。期間内に必着のこと。）。

提出の際は、①意見 ②氏名 ③住所 ④連絡先をご記入の上、右欄の提出先までお願いします。

※口頭のご意見は受付できませんのでご了承願います。

~~パブリックコメント実施中~~
~~※パブリックコメントは終了しています。~~
~~皆様からのご意見が待っています！~~

●提出先・問い合わせ

政策推進部 企画課 行政改革推進グループ
 〒301-8611 龍ヶ崎市 3710 番地

電話 0297-60-1516

FAX 0297-60-1583

電子メール kikaku@city.ryugasaki.ibaraki.jp

※建物の画像は、左上から、市街地活力センター「まいん」、市役所庁舎、文化会館、中央図書館、愛宕中学校
 左下から、子育て支援センター「さんさん館」、湯ったり館、たつのこアリーナ、馴染小学校、八原保育所です。